

食品製造業の売上DI

—平成22年6月—

【概要】

1 売上予測DI

食品製造業における平成22年9月の売上予測DI（先行き平成22年8月～10月の予測で中間月で示す。以下同じ）は、41.2（最低=0、最高=100で分岐点は50、以下同じ）で、前月に比べて0.9ポイントとなった。

業種別にみると、水産食料品が44.8で最も高く、次いで畜産食料品が43.8、コーヒー・茶系飲料が40.0、農産食料品が39.7、調理食品が38.6となっている。

図1 総合「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

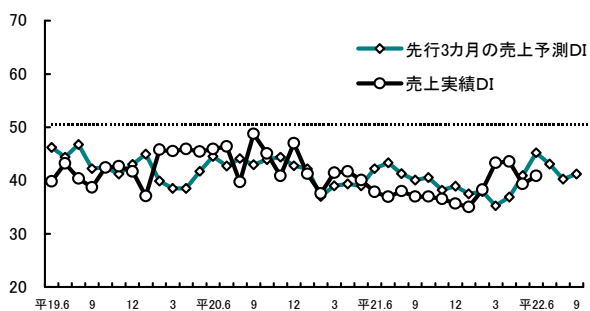


表1 先行3カ月の売上予測DI

| | 平22.7月 | 8月 | 9月 | 前月差 |
|-----------|--------|------|------|-------|
| 総合 | 43.1 | 40.3 | 41.2 | 0.9 |
| 畜産食料品 | 43.8 | 43.8 | 43.8 | 0.0 |
| 水産食料品 | 47.3 | 42.8 | 44.8 | 2.0 |
| 農産食料品 | 42.0 | 39.1 | 39.7 | 0.6 |
| コーヒー・茶系飲料 | 37.5 | 35.0 | 40.0 | 5.0 |
| 調理食品 | 38.9 | 40.0 | 38.6 | ▲ 1.4 |

2 売上実績DI

食品製造業における平成22年6月の売上実績DIは40.9で、前月に比べて1.6ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品が56.3で最も高く、次いで水産食料品が44.2、農産食料品が40.5、コーヒー・茶系飲料が40.0、調理食品が33.0となっている。

図2 売上実績DI

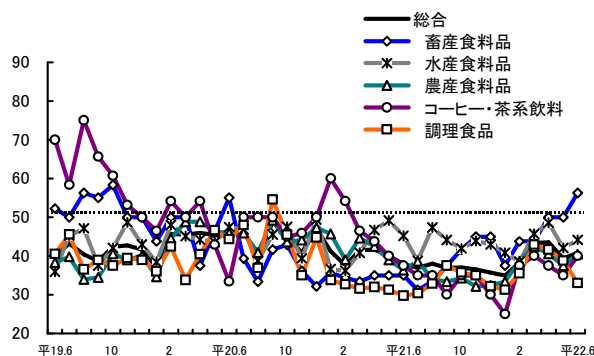


表2 売上実績DI

| | 平22.4月 | 5月 | 6月 | 前月差 |
|-----------|--------|------|------|-------|
| 総合 | 43.5 | 39.3 | 40.9 | 1.6 |
| 畜産食料品 | 50.0 | 50.0 | 56.3 | 6.3 |
| 水産食料品 | 48.6 | 42.1 | 44.2 | 2.1 |
| 農産食料品 | 40.6 | 37.5 | 40.5 | 3.0 |
| コーヒー・茶系飲料 | 37.5 | 35.0 | 40.0 | 5.0 |
| 調理食品 | 41.7 | 38.8 | 33.0 | ▲ 5.8 |

3 製品販売価格DI

食品製造業における平成22年6月の製品販売価格DIは45.3で、前月に比べて0.1ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品と水産食料品が50.0で最も高く、次いでコーヒー・茶系飲料が45.0、調理食品が44.3、農産食料品が42.1となっている。

図3 製品販売価格DI

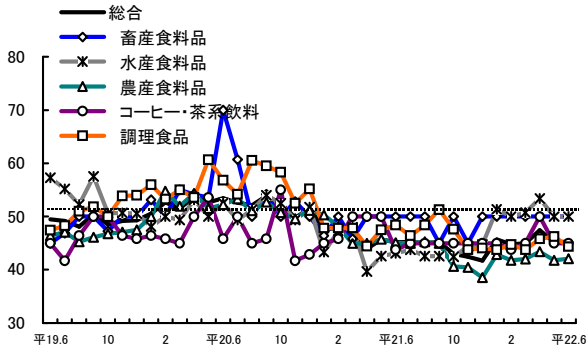


表3 製品販売価格DI

| | 平22.4月 | 5月 | 6月 | 前月差 |
|-----------|--------|------|------|------|
| 総合 | 47.4 | 45.2 | 45.3 | 0.1 |
| 畜産食料品 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 水産食料品 | 53.4 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 農産食料品 | 43.4 | 41.8 | 42.1 | 0.3 |
| コーヒー・茶系飲料 | 50.0 | 45.0 | 45.0 | 0.0 |
| 調理食品 | 45.8 | 46.3 | 44.3 | ▲2.0 |

4 原料価格予測DI

食品製造業における平成22年9月の原料価格予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成22年8月～10月の予測で中間月で示す。以下同じ）は45.1で、前月に比べて▲0.6ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が50.0で最も高く、次いで調理食品が46.4、水産食料品が44.5、農産食料品が44.4となっている。

図4 原料価格予測DI

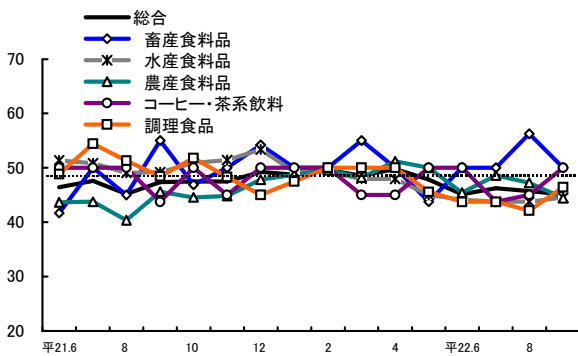


表4 原料価格予測DI

| | 平22.7月 | 8月 | 9月 | 前月差 |
|-----------|--------|------|------|------|
| 総合 | 46.2 | 45.7 | 45.1 | ▲0.6 |
| 畜産食料品 | 50.0 | 56.3 | 50.0 | ▲6.3 |
| 水産食料品 | 43.8 | 43.8 | 44.5 | 0.7 |
| 農産食料品 | 48.6 | 47.3 | 44.4 | ▲2.9 |
| コーヒー・茶系飲料 | 43.8 | 45.0 | 50.0 | 5.0 |
| 調理食品 | 43.8 | 42.1 | 46.4 | 4.3 |

5 原料需給予測DI

食品製造業における平成22年9月の原料需給予測DI（平成20年6月から調査開始。先行き平成22年8月～10月の予測で中間月で示す。以下同じ）は44.3で、前月比0.8ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品とコーヒー・茶系飲料が50.0で最も高く、次いで農産食料品が46.0、調理食品が45.2、水産食料品が40.1となっている。

図5 原料需給予測DI

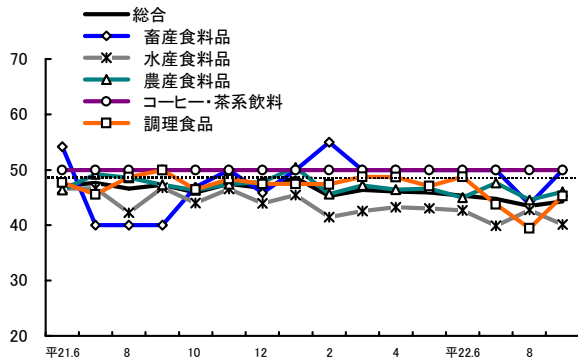


表5 原料需給予測DI

| | 平22.7月 | 8月 | 9月 | 前月差 |
|-----------|--------|------|------|-------|
| 総合 | 44.7 | 43.5 | 44.3 | 0.8 |
| 畜産食料品 | 50.0 | 43.8 | 50.0 | 6.2 |
| 水産食料品 | 39.9 | 42.8 | 40.1 | ▲ 2.7 |
| 農産食料品 | 47.6 | 44.5 | 46.0 | 1.5 |
| コーヒー・茶系飲料 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 調理食品 | 43.8 | 39.5 | 45.2 | 5.7 |

6 在庫水準DI

食品製造業における平成22年6月の在庫水準DIは49.4で、前月比▲0.6ポイントとなった。

業種別にみると、畜産食料品が56.3で最も高く、次いで農産食料品が51.2、コーヒー・茶系飲料と調理食品が50.0、水産食料品が45.8となっている。

図6 在庫水準DI

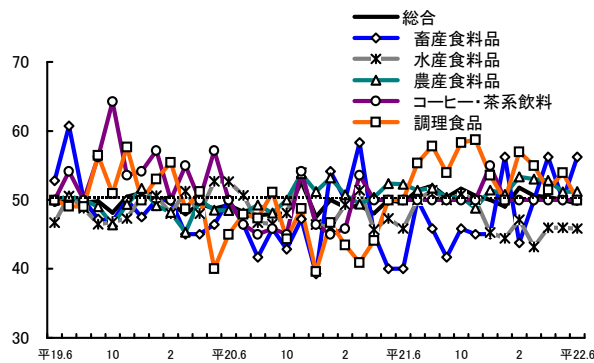


表6 在庫水準DI

| | 平22.4月 | 5月 | 6月 | 前月差 |
|-----------|--------|------|------|-------|
| 総合 | 50.4 | 50.0 | 49.4 | ▲ 0.6 |
| 畜産食料品 | 56.3 | 50.0 | 56.3 | 6.3 |
| 水産食料品 | 45.9 | 45.9 | 45.8 | ▲ 0.1 |
| 農産食料品 | 52.8 | 51.2 | 51.2 | 0.0 |
| コーヒー・茶系飲料 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| 調理食品 | 51.5 | 53.9 | 50.0 | ▲ 3.9 |

【業種別の動向】

1 畜産食料品

畜産食料品の平成 22 年 9 月の売上予測 DI は 43.8 で、前月とかわらない。一方、平成 22 年 6 月の売上実績 DI は 56.3 で、前月比 6.3 ポイントと上昇した。

次に平成 22 年 6 月の製品販売価格 DI は 50.0 で、前月とかわらない。平成 22 年 9 月の原料価格予測 DI は 50.0 で、前月比▲6.3 ポイントと低下した。

図7 畜産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

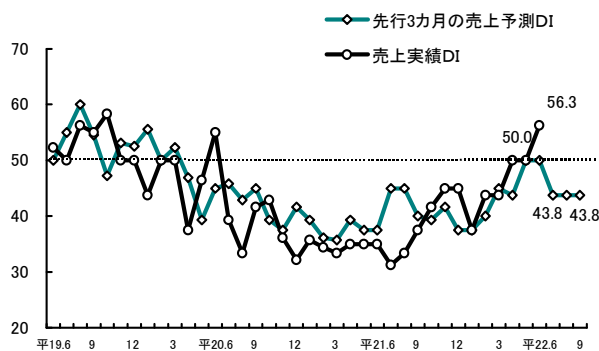
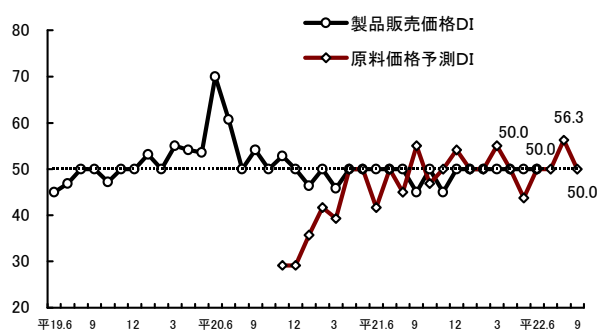


図8 畜産「製品販売価格DI、原料価格予測DI」



2 水産食料品

水産食料品の平成 22 年 9 月の売上予測 DI は 44.8 で、前月比 2.0 ポイントとやや上昇した。一方、平成 22 年 6 月の売上実績 DI は 44.2 で、前月比 2.1 ポイントとやや上昇した。

次に平成 22 年 6 月の製品販売価格 DI は 50.0 で、前月とかわらない。平成 22 年 9 月の原料価格予測 DI は 44.5 で、前月比 0.7 となった。

図9 水産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

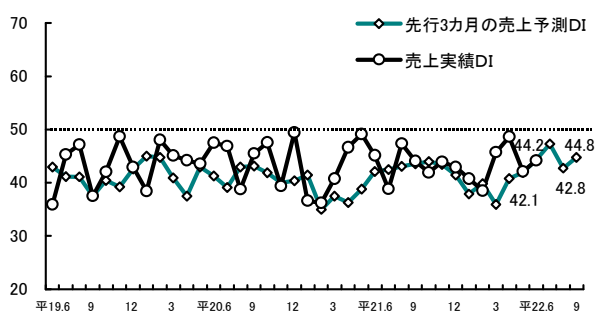
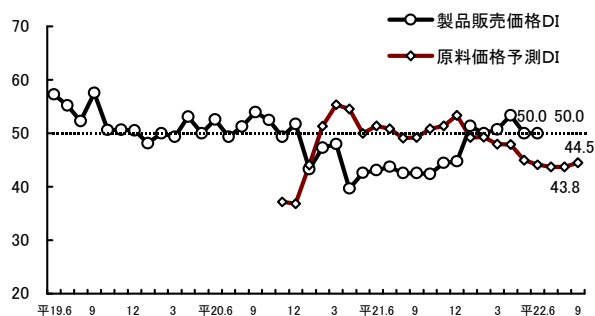


図10 水産「製品販売価格DI、原料価格予測DI」



3 農産食料品

農産食料品の平成 22 年 9 月の売上予測 DI は 39.7 で、前月比 0.6 ポイントとなった。一方、平成 22 年 6 月の売上実績 DI は 40.5 で、前月比 3.0 ポイントとやや上昇した。

次に平成 22 年 6 月の製品販売価格 DI は 42.1 で、前月比 0.3 ポイントとなった。平成 22 年 9 月の原料価格予測 DI は 44.4 で前月比▲2.9 ポイントとやや低下した。

図11 農産「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

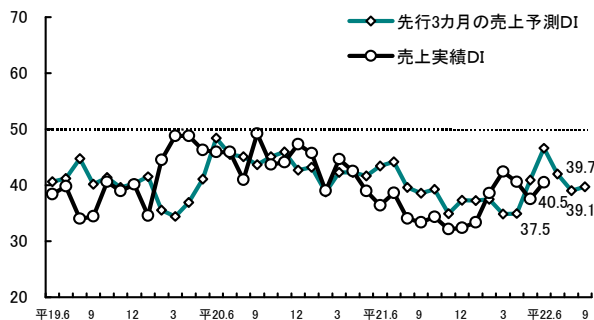
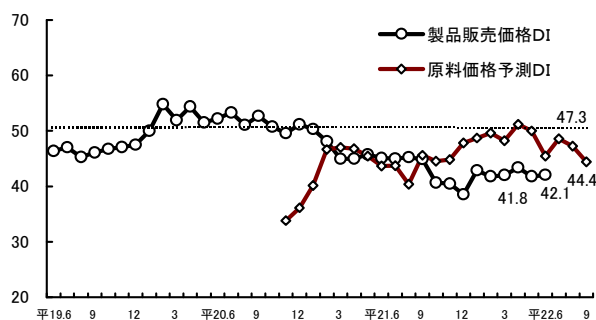


図12 農産「製品価格DI、原料価格予測DI」



4 コーヒー・茶系飲料

コーヒー・茶系飲料の平成 22 年 9 月の売上予測 DI は 40.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇した。一方、平成 22 年 6 月の売上実績 DI は 40.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇した。

次に平成 22 年 6 月の製品販売価格 DI は 45.0 で、前月とかわらない。平成 22 年 9 月の原料価格予測 DI は 50.0 で、前月比 5.0 ポイントと上昇した。

図13 コーヒー・茶系飲料「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

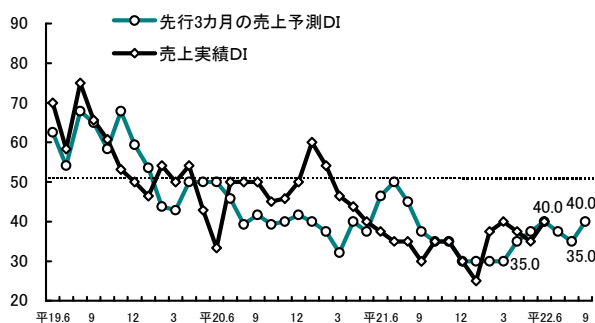
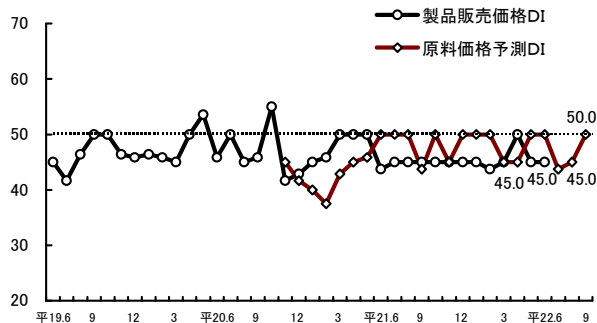


図14 コーヒー・茶系飲料「製品価格DI、原料価格予測DI」



5 調理食品

調理食品の平成 22 年 9 月の売上予測 DI は 38.6 で、前月比▲1.4 ポイントとなった。一方、平成 22 年 6 月の売上実績 DI は 33.0 で、前月比▲5.8 ポイントと低下した。

次に平成 22 年 6 月の製品販売価格 DI は 44.3 で、前月比▲2.0 ポイントとやや低下した。平成 22 年 9 月の原料価格予測 DI は 46.4 で、前月比 4.3 ポイントとやや上昇した。

図15 調理食品「先行3カ月の売上予測DI、売上実績DI」

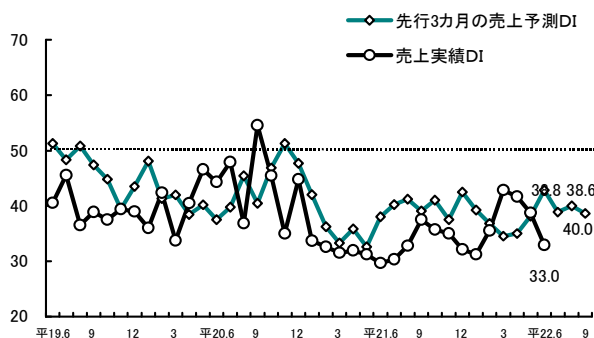
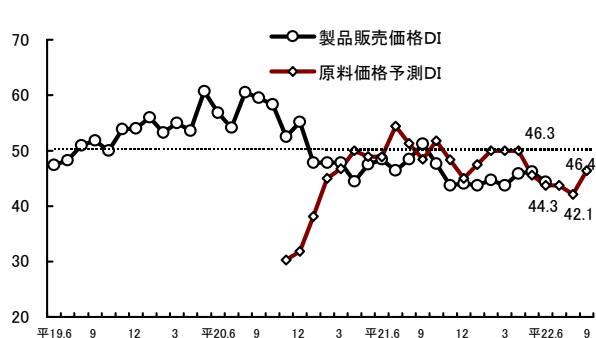


図16 調理食品 製品価格DI、原料価格予測DI



【 利用者のために 】

(1) 判断基準項目

- ・ 売上予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す)
- ・ 売上実績 DI (当月の実績)
- ・ 製品販売価格 DI (当月の実績)
- ・ 原料価格予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※
- ・ 原料需給予測 DI (先行き 3 カ月の予測、図表では 3 カ月の中間月で示す) ※
- ・ 在庫水準 DI (当月の実績)

※平成 20 年 6 月より調査開始。なお、従来調査していた原料価格 DI と原料需給 DI は取りやめた。

(2) DI の算出方法

- ① DI Diffusion Index の増減分岐点は 50%ラインが目安である。
(最高=100~最低=0)
- ② 指数は、回答の 5 段階選択肢「増加」、「やや増加」、「変わらない」、「やや減少」、「減少」(前年同期比)の構成比にそれぞれ+1、+0.75、+0.5、+0.25、+0 を乗じて算出。
注：原料価格予測 DI は、「上昇」、「やや上昇」、「変わらない」、「やや低下」、「低下」の構成比にそれぞれ+0、+0.25、+0.5、+0.75、+1 を乗じて算出。「やや低下」、「低下」の割合が高いほど指数が高く、製品販売価格 DI とは算出方法が異なる。
- ③ なお、DI の算出においては、企業規模の大小に基づくウェイト付けを行っておらず、「1 社 1 票」の単純平均である。

<前月比の増減基準>

| | |
|----------------------|---------------|
| 増加、上昇、良い、多め | : 5%以上 |
| やや増加、やや上昇、やや良い、やや多め | : 2%以上~5%未満 |
| かわらない | : ±0%以上~±2%未満 |
| やや減少、やや低下、やや悪い、やや少なめ | : -2%以上~-5%未満 |
| 減少、低下、悪い、少なめ | : -5%以上 |

(3) 調査方法

郵送によるアンケート調査

調査時点 平成 22 年 7 月

(4) 前月差については、ラウンドの関係で一致しないことがある。

本調査結果は、下記のホームページでご覧いただけます。

農林水産省 [【http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html】](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_doutai/index.html)

(社)食品需給研究センター [【http://www.fmric.or.jp/stat/index.html】](http://www.fmric.or.jp/stat/index.html)